

## 平成19年度 第3回 西木地域審議会会議録

一、日 時 平成20年1月30日(水)午後2時

一、場 所 西木温泉ふれあいプラザクリオン

一、会議に出席した委員

布谷政男	小林清司	武藤晟平	小林康次郎
佐々木茂徳	橋本典子	門脇藤子	赤倉羊子
鈴木重蔵	橋本米彦		

一、会議を欠席した委員

大蔵定臣	鈴木順子	藤井けい子	浅利重富美
------	------	-------	-------

一、会議に出席した職員

西木地域センター長	門脇主彦
総務部次長兼企画政策課長	倉橋典夫
総合窓口課長	新山敦晃
地域振興課長	大澤清
企画政策課主査	阿部聡
総合窓口課総務班長	浅利喜一郎
総合窓口課総務班主査	戸村和子

一、会議次第

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 事

(1)定住人口3万人の確保と交流人口1,000万人の具体的方策について

(2)廃校舎の利活用について

4 閉 会

一、総合窓口課長が開会宣言する。

(午後2時)

一、会長あいさつ 今日はお寒いところ第3回地域審議会にご出席頂きましてありがとうございます。さて、この審議会の任期もあと僅かになってきております。実際には2月15日です。今日の会議が最後になります。今年度は初めから定住人口と交流人口の問題について、話し合っ

きており先回はこれに桧木内の廃校舎の利活用を含めて意見を求められております。答申に向けて最後の協議になりますのでよろしくお祈いします。簡単ですが挨拶とします。

一、倉橋次長

皆さん、ご苦労さまです。只今、布谷会長さんのお話にありましたように、2月がこの地域審議会の皆さんの任期になっております。これまで昨年は総合計画、今年は定住対策、テンミリオン計画についていろんなご提言をお寄せ頂きありがとうございます。今日が最後の地域審議会になりますので、よろしくご審議頂きますようお願い申し上げます。

今年度の答申につきましては、2月12日に3地区の会長さん、地域センター長にお集まり頂き、市長に提出して頂く予定になっております。今日の審議で西木地区の意見をまとめていただければ幸いです。地域審議会はこれで終了しますが、今後ともいろんな面で、皆さんからご指導頂きますよう一言お礼を申し上げまして挨拶いたします。

一、議事

一、議長

廃校舎の利活用について、上桧木内の住民の意向を尊重するというこことで、持ち越しておりました。その後どうなっているか廃校舎の利活用について、鈴木委員にお願いしておりましたので、鈴木委員の方から簡単にご報告をお願いします。

一、鈴木(重)委員

ご苦労さまです。アンケートの集計結果の資料が、皆さんのお手元に届いていますでしょうか。簡単に説明させていただきます。

アンケート調査は、上桧木内地区の、全戸加入の上桧木内部落会が調査してこの部落会が集計したものです。アンケートは早い時期に行いました。この結果を踏まえて昨年9月に約30名の委員で検討委員会を開き、相談した結果であります。更に厳しくなる私たちの地区であります。それにつきまして、老人ホーム、福祉関係の施設にしてみらう。また、若者の流出が激しいので誘致企業に来て頂くという2点に絞られました。その後、県南ふくし会などに聞き取りした結果、ふくし会の話では旧上桧木内小学校では無理とのことでした。改めて検討した結果、宿泊施設がいいのではないかとこことでまとめました。体験学習などにも利用出来ると考えております。以前、上桧木内地区は1000mまでボーリングした後があります。当時の契約で湯量が少ないということで断念したようである。それに少し手を加えていただいて、宿泊施設に温泉を引き込んでもらえれば、施設の利用度も上がり交流人口が増えるのではない

かと考えます。以上で終わります。

- 一、議 長 そのほかに、利活用について良い考えがあれば、提言して頂きたいです。
- 一、橋本委員 市では校舎を、取り壊わす方向では考えないでしょうか。
- 一、門脇センター長 現在は倉庫として使用している。大体については、補助金等の関係で解体の方向では進んでいない。
- 一、橋本委員 期限としては、何年ぐらいあるのか。
- 一、門脇センター長 30年ぐらいある。
- 一、橋本委員 取り壊さず、維持しながら何かに利用していく方向ですか。
- 一、門脇センター長 利用しなければならないということもない。
- 一、橋本委員 維持費がかかるので、取り壊してもいいのではと考えていた。
- 一、議 長 他にないようですので、部会に分かれて検討していただきたいと思います。

部 会 (午後2時25分)

(1) 定住人口3万人の確保

部会長 鈴木重蔵

副部会長 橋本典子

出席委員 小林清司 橋本典子 赤倉羊子

鈴木重蔵 橋本米彦

欠席委員 大蔵定臣 鈴木順子

出席職員 西木地域センター長 門脇主彦

企画政策課主査 阿部 聡

総合窓口課総務班長 浅利喜一郎

一、鈴木部会長 前回に引き続きの議題となりますが、前回の会議録を参考にしながら新しいご意見をお願いします。

一、小林(清)委員 差し当たって小さいことから気をつけていくとすれば、転入転出をチェックして、転出する方を行政で指導できないものか。

一、赤倉委員 地域の実情を見てると、増よりも減の方が年々多くなっている。この先を見ても減っていくのが現実のような気がします。

一、鈴木部会長 結婚できない方も結構いるし、昨日の新聞等で、個人収入で秋田県全部の市町村が書かれていたが、百何十万という低さでしたけれども。仕事がないということが一番のネックになっていると思う。

一、橋本(米)委員 仕事以外にも不便さがあると思う。買い物に行くにしても角館まで行かなきゃならないし、高齢者の方々は、とても大変だと思う。

そうすると、子供が大きくなっていて、例えば秋田市にいるとすれば秋田市に呼ぶか、施設に入るしかないと思う。

一、赤倉委員 大学進学を考えた場合でも、働きながら学ぶとなると、都会に出してしまうと思う。

一、橋本副部会長 上小の場所は良いし、利用が先ほどのようになれば大変良くなると思う。

一、小林(清)委員 比較して悪いんですが、田沢小学校よりは、内陸線も通っているし、条件は良いような気がします。

内陸線は、何としても残していただくように働きかけていかなければならない。イシズカさんも内陸線は絶対欲しいと言っている。

一、鈴木部会長 内陸線があると無いでは、西木地区の存在がかなり変わってくると思う。上桧木内地区では、年に2回から3回はお座敷列車をチャーターしている。

一、小林(清)委員 南の方ばかり見るのではなくて、北側、北秋田市側を向いて推進

したらどうか。

一、鈴木部会長 北秋田市との交流が前は盛んだったが、今はほとんど無いようだ。最近では、若者が少なくなったので、風船作りも苦慮しており、内陸線を利用して、風船作りに来て貰う。又他の行事があるときは、そちらに出向くというような「お祭り交流」というものも考えているが、まだ実践までいっていない。

一、橋本(米)委員 西木地区には、レジャー産業が欠けている。ネオンがない。列車等も夜遅くまでないため、ここを離れなければならない。

一、小林(清)委員 牧場の開発もやったらいいと思う。酪農大学等の出身者を牧場に置いて、小動物等も置いて、高級和牛でも食べさせたり、販売したらどうか。

休憩(午後2時50分)

再開(午後3時)

一、橋本(典)委員 前回は話しましたが、西木地区は小規模校なので、教育が個々に行き届くので、目玉として、給食費をなくすという政策はいかがか。政策的に、薄く広くじゃなくて、ある時期にある物を集中的に行うということはできないものか。

一、門脇セクター長 福祉関係に予算が大分かかる状況にあり、他に回す財源が出てこない状況である。

一、赤倉委員 児童数はどうなっているか。子供を産む人がどんどん少なくなっているように思う。

一、鈴木部会長 サークル及びサークル活動が無くなって、交流活動が無くなっており、パートナーを見つける機会が少ないことも原因と思う。

一、橋本(米)委員 前回は言いましたが、医療体制の整備が必要で、市民であれば、救急時に30分以内に病院で診察できるような体制作りをお願いしたい。

一、鈴木部会長 予定の時間ですので、本日の部会での大きな点を話たいと思います。

1. レジャー産業の整備促進(垂天地沼)

2. 牧場の開発(夏場に小動物等も飼育して、牛肉等を食べさせたり、販売したりする。)

3. 子育てを支援する

4. 医療関係の整備

5. 内陸線の存続

6. 北秋田市との交流を盛んにする運動を展開する。

7. 結婚相談について斡旋する。以上で終了します。(午後3時45分)

部会（午後2時30分）

（1）交流人口1,000万人の具体的方策について

部会長	小林 康次郎		
出席委員	布谷 政男	武藤 晟平	佐々木 茂徳
	門脇 藤子		
欠席委員	藤井 けい子	浅利 重富美	
出席職員	総務部次長兼企画政策課長	倉橋 典夫	
	総合窓口課長	新山 敦晃	
	地域振興課長	大澤 清	
	総合窓口課総務班主査	戸村 和子	

- 一、小林部会長 部会ですが、藤井けい子さん、浅利重富美さんの欠席で5人の部会となりました。前回に引き続き、交流人口1,000万人について審議してもらい、まとめて答申できるように意見をだしてもらいたい。
- 一、布谷委員 前回の案で、かたくりの時期に馬車などで移動する案が出たが、実現できるか。
- 一、佐々木委員 関係者で案を練っているが、近いうちに変えて行こうという向きになっているが、具体的にはない。駐車場も狭いなりに工夫して行かないとならない。
- 一、小林部会長 かたくりの会で話し合いし、試算して上げてもらうとやりやすい。
- 一、門脇委員 馬の確保はできるのか。
- 一、武藤委員 お客さんは高齢者が多いのではないか。移動の仕方を考えるとお客さんも助かるのではないか。そのためにも、馬に限定せず移動手段を改善したほうがいい。
- 一、佐々木委員 シャトルバスなども考えているが、その駐車場もない状態である。
- 一、武藤委員 駐車場がないからこそシャトルバスなど考えるべきである。
- 一、佐々木委員 汽車の利用をお願いする。
- 一、小林部会長 田沢湖には、韓国からのお客さんが多いと聞いた。田沢湖の観光協会とタイアップして、西木の観光ルートを開拓して西木を經由してもらいお客さんを増やしたいが。紙ふうせんも一夜だけのお祭りなので、かたくりなどの期間の長いものにお客さんを多く呼びたい。
- 一、門脇委員 グリーンツーリズムの体験学習で来て、大人になってまた来てくれるようなりピーターを増やせばいいのですが。そして宿泊を「ゆぼぼ」に頼らないで、西木で対応出来るようにしていくと良い。
- 一、佐々木委員 民宿施設があるといいが、なかなか許可が難しい現状である。

- 一、小林部会長 現在ある2つのグリーンツーリズム施設をフル活用して、活気づけて新しい施設が出来るまで頑張っってツーリズムを大きくしていくことが大事である。
- 一、門脇委員 田沢湖のスポーツセンターは市とは関係のない施設なのでしょうか。食事の面では不評ですので、廃校舎を活用して受け入れが出来るようになればいいのですが。
- 一、倉橋次長 田沢でも廃校舎を利用した宿泊施設を考えているが、なかなか許可が難しいようである。市でもその方向で考えている。
- 一、佐々木委員 門屋城のアピールですが、門屋城の輪郭を整備し、地元の人たちの協力を仰いで観光地に出来ればいいと思う。
- 一、布谷委員 観光協会の合併が難しいのであれば、観光連盟か協議会を立ち上げて連携をとって行くようしてもらいたい。西木の集客力はクリオンに限りられる。プール建設の土地も買い上げ準備してあると聞いているが、早く実現して欲しい。内陸線の存続もお願いしたい。1善されたが、大型車両が交差できない狭い箇所を県に働きかけて改善して欲しい。
- 一、武藤委員 かたくりに行く道路は狭くないですか。
- 一、佐々木委員 八津の幹線道路を広げるよう測量済段階で広くなる予定である。村おこしは、全国にいっぱいあるが住民のアイデアで、すばやく実行することが重要であると考えます。それに行政のバックアップも重要な部分である。
- 一、小林部会長 観光協会、商工会、行政の協力が必要であると考えます。だいたい出尽くしたようですので一旦閉じます。ひとまずご苦労さんでした。

( 3時45分 )

- 一、議 長 それでは会議（全体会）に入ります。（午後3時50分）  
定住人口3万人の確保について、鈴木部会長から報告願います。
- 一、鈴木部会長 （定住人口3万人の確保の会議録のまとめを報告する。前文参照）
- 一、議 長 次に交流人口1,000万人の具体的方策について、小林部会長お願いします。
- 一、小林部会長 7項目ほどあります。
- 1．内陸線の存続ということは、カタクリの観賞の移動手段の改善についてということで、駐車場に馬車などを走らせてみたい。
  - 2．観光ルート周遊コースの開拓ということで、市道小山寺・下田線の改良して、観光コースにしたい。
  - 3．グリーンツーリズムの促進ということで、2軒ほど宿泊施設がありますが、宿泊施設を増やして、お客さんをお迎えするという事です。
  - 4．クリオンのプール施設の改築・建築をして、水泳人口の集客を図る。
  - 5．観光協会の一歩化。こういう事業をやっていくうえでは、観光協会が一歩化で力を合わせやすい、物事も進めやすいということで、協会の一歩化を図りたいということです。
  - 6．内陸線の存続を切に要望したい。
  - 7．国道105号の局部改築。現在、瀧野地内を改良しているが、それの以北を局部的に改良していただきたい。 以上7項目です。
- 一、議 長 以上報告が終わりました。お諮りいたします。報告のとおり異議ありませんか。  
（異議無し、の声あり）
- 一、議 長 無いようですので、これで決定することに致します。  
最後にセンター長から一言お願いします。
- 一、門脇センター長 合併して、2年間にわたりご審議いただき、色々なご意見を頂きましてありがとうございました。
- 一、議 長 これを持ちまして第3回西木地域審議会を閉じます。ご苦労様でした。  
私事ですが、皆様のご協力を得まして、2年間無事勤めることができました。厚く御礼申し上げます。終わりにしたいと思います。  
ご苦労様でした。 （午後3時58分）